

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 岩槻小学校** > > > > > > >

- 1 キャッチフレーズ「あい」あふれる岩槻小のもと学校教育目標を「自ら考え、行動し、共に学び・共に生きる岩っ子の育成」と設定しています。
- 2 目指す児童像を「考える子 助け合う子 きたえる子」と設定し、児童の「じりつ（自立・自律）・きょうせい（共生・共成）」を支援し、考動できる子、つながりを大切にできる子、チャレンジできる子の育成を行います。



■所在地：さいたま市岩槻区本町 5-6-45 ■電話：048-756-3341
 ■FAX：048-758-7488 ■交通：東武アーバンパークライン岩槻駅徒歩 10 分

01 地域とともにある学校づくり



本校は、地域に愛され、地域に見守られ、地域とともに歩んでいる学校です。近隣には「遷喬館」や「岩槻人形博物館」などの教育活動に活用できる施設が多くあります。本校の中にも「人形資料館」があり、人形クラブ等では「面相書き」「木目込み」などの引き継がれてきた伝統や技術を実際に体験しています。

さらに、「岩槻まつり」や「親子ふれあいフェスタ」などの地域行事に、本校の金管鼓笛隊等が積極的に参加するなど、岩槻の町おこしに自分たちができることを考える機会を多く設定しています。このような、子どもたちの身近で引き継がれている伝統を教育活動に取り込み、地域とともに学び続ける学校教育を推進していきます。



02 人権教育の充実



学校教育全体で、人権に関する教育活動の充実を図ります。特別の教科「道徳」の授業を軸に、一人ひとりを大切にする人権意識を育てます。そのために、児童会による「いじめ0」を目指す主体的な活動や「いのちの支え合いを学ぶ授業」の実施、校内における発達支持的生徒指導の充実、教育相談体制を整える等多方面から誰一人取り残さない教育に取り組んでいきます。また「たて割りふれあい活動」といった他学年と触れ合う活動、さいたま市教育委員会が主催する「夢工房未来くる先生 ふれ愛推進事業」等を活用したキャリア教育等、体験活動を充実させ主体的に生きる力を育てます。一人ひとりが自分を大切にすることを通して他者を敬う心を育て、みんなが不自由なく生活するために自分たちができることは何か、主体的に考える教育活動を推進していきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 太田小学校** > > > > > > >

学校教育目標

『自他を大切に主体的に学び、生きる力をはぐくむ児童の育成』

「やさしく かしく たくましく みんなで伸び行く太田小」をキャッチフレーズとして、子どもたちにとって居場所のある学級づくりや、家庭や地域とともに歩む学校づくりを推進しています。



■所在地：さいたま市岩槻区仲町1-17-3

■電話：048-756-0515

■FAX：048-758-7487

■交通：東武アーバンパークライン岩槻駅徒歩 20 分

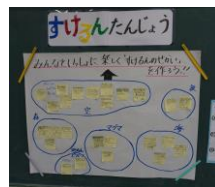
01 児童が安心して生活でき、いのちを大切にできる学校づくり



本校では、さいたま市の「心のサポート推進事業」の取組の一つである、「予防開発的な教育活動の充実」を目指し、「SOS の出し方に関する教育」について研究を進めてきました。

「『いのちの支え合い』を学ぶ授業」の全学年実施や、児童会によるあいさつ運動、特別活動部による兄弟学級や集会等の活動等により、SOS を出したり受け止めたりすることが出来る児童の育成に取り組んでいます。

また、教職員も児童の SOS を受け止められるよう、児童へのアンケートの実施や面談週間の設定等を行い、生徒指導・教育相談体制の充実を図っています。令和6年度から校内に設置している「ききょうルーム」の活動を地域の力を借りながら推し進め、自他を大切にし、未来社会をリードする人材の育成に努めてまいります。



02 児童とともに育てる家庭・地域との連携、教育環境の整備



家庭や地域と連携を深め、児童の SOS に気付くことができるよう、情報発信と共有化を図っています。岩槻中学校や岩槻小学校、地域との意見交換の場であるコミュニティスクールの活動も推し進め、学校と地域とのつながりを強められるよう努めています。

また、児童の安心感が向上できるように教育環境の整備を行いました。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、さわやか相談員などの相談員を紹介したり、相談窓口の掲示などを行ったりして、相談しやすい環境づくりに努めています。全学級のいじめ撲滅スローガンや人権標語の廊下掲示により、支持的風土の醸成にも努めています。

さらに、高学年の理科、特に第6学年の理科の学習においては、SDGs を意識した学習展開を行い、学習してきた理科の知識や思考をSDGs と結びつけることで、より身近に、自分事として捉えることを目標としました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。



さいたま市立
川通小学校



開校141年目を迎える本校は、さいたま市東部を流れる水量豊かな元荒川の東岸に立地し、地域コミュニティの一つとして保護者の皆様や地域の皆様に親しまれてきた学校です。

その元荒川の恵みを求めてやって来るたくさんの小動物、校区に広がる田園地帯、そうした自然に恵まれた環境を生かした教育を進めています。また、地域の歴史と伝統に裏付けられた産業や文化を取り入れた学習、地域コミュニティに根づく人と人の関わりを生かした教育活動も本校の特色です。



■所在地：さいたま市岩槻区大野島4-2-2-1 ■電話：048-799-1060
■FAX：048-799-0424 ■交通：岩槻駅東口より越谷駅西口またはしらこぼと水上公園
行き下飯塚下車（朝日バス）徒歩15分

01 地域とともに歩む学校づくり



本校では、互いに認め合いよりよい学校生活について考えることができる話し合い活動の充実に力を入れています。児童会が作成する「いじめ撲滅スローガン」のもと、「川小大パズル」や「ハート貯金」、「あいさつ運動」に取り組むことで人権意識を育て、子ども全員が安心・安全な生活が送れる基盤づくりに取り組んでいます。

また、全校集会でお世話になっている地域の方に「感謝の会」を開き、郷土と人を愛する心を培う学校教育を推進しています。地元の産業については、3年生社会科で地域で生産されているヨーロッパ野菜農家について学び、地域の人々の話を直接聞くことができます。また、5年生の稲作では地元農家の方のご支援・ご指導のもと、食糧生産の体験を通して人や食べ物への感謝の気持ちを醸成しています。

こうして、地域の一員としての自覚を高めるために、ICT等を活用して熟慮や議論をしたり、体験活動をする子どもたちの視野を広げ、地域の活性化と郷土愛を培い、地域をよりよくする一員になっていけるようにしていきたいと考えています。

02 豊かな自然を生かした生産活動の充実



周囲を田畑に囲まれた本校は、学校ファームを所有し、サツマイモ、米、大根、ヨーロッパ野菜等を各学年が栽培しています。子どもたち自身で育てて収穫した作物は、給食の食材として食べることを通して、心を耕し育てています。また、地域には、多くの昆虫や鳥類も生息しています。

これらの自然をよりよく生かしていくためにどうすればよいか、子どもたちは、話し合い、持続可能な社会をするため、地域の一員としての自覚を育成します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立

柏崎小学校



《学校教育目標》

学びを楽しみ、共に高め合うかしわっ子

知：自分の考えや思いを伝え合い、共に高め合い、学び合う子

徳：相手を思いやり、尊重し合い、感謝の気持ちができる子

体：健やかな心身、粘り強くやり抜く子

コ：互いのよさを認め合い、多様なかわり合いができる子

合言葉・・・かしこく わくわく つながる こころ



■所在地：さいたま市岩槻区柏崎762番地 ■電話：048-798-3831

■FAX：048-798-8672

■交通：東武アーバンパークライン岩槻駅徒歩 25 分

01 人間関係を基盤とした教育活動の充実



【ハッピー活動】



本校は令和6年度より、学校課題研究の研究主題を「仲間と協働し、自らの学びを調整しながらよりよく成長しようとする児童の育成～教育の質を保障する令和型授業の研究～」とし、

「児童が主体的に学ぶ」授業研究に取り組んでいます。児童が自らの学びを調整できる機会を保障したり、地域の人材をゲストティーチャーとして招聘したりするなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指しています。

さらに、授業外の実践として、毎週木曜日に「なかよしタイム」や「ハッピー活動」を実施し、みんなで遊んだり、同じ活動をしたりすることで、児童同士の繋がり、結びつき、異学年交流をもつ機会を設けています。

これまで培ってきた力を基盤としつつ、取組を継続、発展させていく中で、教育活動の更なる充実を目指し、取り組んでいきます。

02 豊かな自然環境を生かした体験活動への取組



【田植え体験】

本校は、豊かな自然環境に恵まれ、木々や花が季節を感じさせてくれます。給食では、地域の生産者の食材を多く取り入れ、地元のよさを生かし、専門の方から教えてもらいながら、ヨーロッパ野菜の栽培、収穫にも取り組んでいます。

社会科の授業では、「おやじの会」や地域の農業委員の方の協力を得て、水田を造り、田植えや稲刈りなどの体験的学習を行っています。

豊かな自然環境を生かした体験活動を通して、守り、引き継いでいく意識を高めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

和土小学校



目指す学校像 一人ひとりがキラリと光る学校

学校教育目標

未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

○やさしい子

- ・自らあいさつする子
- ・豊かにかかわり合う子
- ・相手を理解し、互いに尊重する子

○かしこい子

- ・自ら学ぶ子
- ・友達と協働し、じっくり考える子
- ・自分の考えをもち、自分の言葉で話す子

○たくましい子

- ・何事にも挑戦する子
- ・あきらめずに最後までがんばる子
- ・健康で安全な生活を送る子

■所在地：さいたま市岩槻区黒谷 1 3 5 3 番地 ■電話：048-798-0208

■FAX：048-798-8730 ■交通：東武岩槻駅から国際興業バス「和土」バス停下車徒歩 8 分

0 1 和土の豊かな自然や文化を『知る』



1 年生の生活科では学区探検。2 年生の生活科での町探検。3 年生の社会科と総合的な学習の時間において、学校周辺や岩槻区のことについて学びます。学習を通して、田畑の多さや自然林などの自然の豊かさ、篠岡八幡大神社の子ども土俵入りや数多く存在する寺社などから地域の伝統文化と歴史を学んでほしいと考えています。



2 年生 町探検

0 2 体験を通して食の大切さを『考える』『行動する』



1・2 年生は生活科で野菜づくりをしています。5 年生は総合的な学習の時間で「食」について学びます。その中で「田植え・稲刈り体験」をしています。児童は苗の植え付けや水やり、稲刈りをして、収穫できた野菜や米を食べる活動を通して、自然を相手に食べ物をつくることの大変さや素晴らしさを学び、「食」の大切さを実感してほしいと考えています。



5 年生 稲刈り

また、給食の食材を育てる機会や給食で提供される伝統食、海外の料理などの食文化にふれる機会を通して、「食」に対する理解を深めるとともに生産者、調理する方への感謝の心を育てています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

新和小学校



学校の教育目標（目指す子ども像）

みんなでつくる みんなの学校

～児童・教職員・保護者・地域のすべての人の笑顔のために～

自分で考え、自ら行動する子 みんなを大切にできる子 よりよい未来を切りひらく子

本校は、さいたま市教育委員会から委嘱を受け、学校保健の研究を通して、学校・家庭・地域で推進する「生涯にわたり、健康づくりに取り組む新和っ子の育成」に取り組んでいます。



■所在地：さいたま市岩槻区尾ヶ崎 1252 ■電話：048-798-0003 ■FAX:048-798-8732
 ■交通：JR 武蔵野線 埼玉高速鉄道線 東川口駅北口 国際興業バス「岩槻駅」行き
 バス停「尾ヶ崎」下車（約 17 分） バス停から徒歩約 7 分

01 地域の農家の方との地元野菜等の栽培



本校では、農家の多い地域性を生かし、地元野菜等の栽培や収穫などの体験学習を実施しています。地域の農家の方々を招いて、もちの木学級はヨーロッパ野菜、3年生はクワイ、5年生は米の育て方を教わったり、育てた農作物を実際に食べたりすることによって、地域の食文化への興味・関心を高められるようにしています。また、さいたまヨーロッパ野菜研究会と連携し、農家の方を招いて交流会を行ったり、ヨーロッパ野菜を使った献立を給食で出したりすることで、農作物の多様性を学ぶ機会としています。

また、残菜量を減らす取組としては、「好ききらいなく食べることを生活目標に設定することで、給食の食べ残しについて考える機会としています。自分で決めた喫食量を達成したかがわかる掲示物を委員会の児童とともに作成することで、児童一人ひとりの食べ残しを減らす意識を高めています。

これらの取組を通して、SDGs の目標 2「飢餓をゼロに」、目標 12「つくる責任つかう責任」に寄与していきたいと考えています。

02 生涯にわたる健康づくり～持続可能な教育活動の実践～



本校では、本校独自の「生活習慣アップカード」や「親子歯みがきチェック」を活用して、望ましい生活習慣の定着をめざしています。子どもたちが生活を振り返り、自分事として課題を見つけ分析したり、教科横断的な視点で、担任とともに栄養教諭や養護教諭によるチームティーチングを実施したりして、生涯にわたる健康づくりに対する意識改善を啓発しています。

これらの取組を通して、SDGs の目標 3「すべての人に健康と福祉を」に寄与していきたいと考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立 慈恩寺小学校



「夢や希望をもち、心豊かにたくましく生きる児童の育成」

つよく ただしく なかよく

学ぶ意欲 強い意志 尊重し合う心

～ きらりと輝く 慈小っ子 ～



■所在地：さいたま市岩槻区大字慈恩寺 259 番地

■電話：048-794-1140

■FAX：048-795-0377

■交通：東武アーバンパークライン豊春駅徒歩 30 分

01 確かな学力の向上のために



学びのポイント

「じ・し・ゃ・く」を取り入れた学習の質的向上。児童主体とした授業を実施し、学びの個別最適化を推進する。

学校課題研修では、ICT を効果的に活用した学びや学習形態の工夫、言語環境の整備等に取り組む。

また、読書活動の充実・基礎的基本的な知識・技能の着実な定着を図る時間の設定・家庭学習の在り方の見直しを図る。



02 健康な心と体づくりのために



ISS (インターナショナル・セーフ・スクール) 実践校として、児童主体の持続的活動・体力向上キャンペーン等による運動機会づくりと食育に関する取組の充実を図る。「あいさつ」「そうじ」「くつそろえ」の徹底（家庭・地域・学校で）に取り組むことで、健康な心を育成する。

03 人権教育の推進を図るために



全教育活動を通して、人権意識の育成・人権を尊重する教育の徹底・児童と教師がお互いに人格を尊重した差別のない学校、学級づくり

（言葉遣い）に取り組む。心を潤す 4 つの言葉（おはようございます・はい・ありがとうございます・ごめんなさい）の推進・ハッピーワード活動の推進・保護者への啓発（人権標語等）を図る。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
河合小学校



《学校教育目標》 ◎よく考え 進んで学習する子（知育）
◎すなおで 思いやりのある子（徳育）
◎心も体もたくましい子（体育）
◎仲間と協力し合う子（コミュニケーション）



開校 118 周年を迎え、豊かな環境を生かし地域と共に歩む学校

■ 所在地：さいたま市岩槻区大字平林寺 3 5 1 ■ 電話：048-756-2243
■ FAX：048-758-7492 ■ 交通：東武アパールライン岩槻駅、JR 宇都宮線蓮田駅より徒歩約 30 分

01 学ぶ楽しさを実感できる授業づくり



学校的で深い学びを取り入れた学習を目指しています。

学校課題研究等でタブレット型コンピュータ等の ICT 機器を活用した「アクティブ・ラーニング」型授業の実践を推進し、さいたま市『学びのポイント』を意識しながら児童の主体的・対

02 一人ひとりのよさを生かし、豊かな心をはぐくむ



を行っています。月 1 回実施する朝のわんぱくタイム（業前運動）や、毎週 1 回行っているフリータイム（ロング昼休み）の時間を設定し、主体的に運動に取り組む活動を推進しています。

特別活動を生かして学級経営の充実を図り、児童会を中心に「心を潤す 4 つの言葉・心を元気にする 4 つの言葉」の活用を推進しています。委員会活動で図書イベントの実施や緑化環境整備など

03 地域と連携し、郷土を愛する心情を育成



春秋に学区内の平林寺グランドに行き、どんぐり拾いやカエル、トンボなどの虫取りを楽しみます。中学年は、学区内にある赤坂沼を中心に年間を通じて自然観察を行います。自然観察員の御指導の下、プールのヤゴを沼に開放（ヤゴ救出大作戦）、絶滅危惧種タコノアシの観察等を行い、調べたことを発表しています。高学年は、地域の方が所有する田んぼで田植えから稲刈りまでを体験し、そのことから興味関心を広げ、調べたことを発表する活動を行っています。また、収穫したお米をお世話になった方々と食べる体験を含めた感謝の会を開いています。

地域ボランティアの方々に御指導いただきながら、稲作や自然観察など自然が豊かな地域の特性を生かした体験学習を計画的に行い、児童の地域に対する誇りと愛情を育てています。低学年は、

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 東岩槻小学校** > > > > > > >

学校教育目標

「ともに伸びる子」 かしこく・ゆたかに・たくましく
一心豊かに生き生きと学び、ともに伸びようとする「すわっ子」の育成—

- かしこく ・自分の考えを伝えられる子 ・自分で考え、行動する子
- ゆたかに ・自分もみんなも大切にできる子 ・互いに高めあい、協働する子
- たくましく ・粘り強く挑戦する子 ・心も体も鍛える子



■所在地：さいたま市岩槻区諏訪2丁目6番地1 ■電話：048-794-1584
■FAX：048-795-0369 ■交通：東武アーバンパークライン東岩槻駅徒歩15分

01 児童の食に関する意欲を高めるために



食に関する意欲を高めるために、本校の学校給食部が考案した「ラッキーにんじん」や4年生～6年生を対象とした「ペろりん賞」といった取組を行っています。

「ラッキーにんじん」の取組とは、週1回、星型の形のにんじんを1つ、スープ等のメニューへ入れ、そのにんじんを見つけた児童には写真を撮ったり、校内放送で名前を紹介したりしているといった内容です。

「ペろりん賞」とは、その日の給食を完食できたら、教室内に掲示してある献立表へ花丸を付けたり、シールを貼ったりすることです。

このような取組で児童の食に関する意欲を高めるとともに、毎回の給食の残菜率を減らすことにつながっています。



02 埼玉県内の食品を使い、無駄のない消費をするために



できる限り埼玉県産の食品を扱い、地産地消で無駄のない消費に取り組んでいます。毎月発行している「給食の献立表」に埼玉県産の食品が使われていることが分かるようにしています。また、献立内容も工夫しています。和食、洋食、中華が重ならないように、味付けも重ならないように気を付けています。

このように、埼玉県産の食品をできるだけ使い、子どもたちが「給食、おいしい!」と感じられるように取り組んでいます。

8月	おやこどん (むぎごはん)	そくせきづけ みそしる	たまご とうふ ぎゅうにゅう	とりにく わかめ
9月	【めあいにデー】 ブルーベリー トースト	【こんだて】 クリームスープ カリカリベーコンサラダ	ベーコン なまクリーム	とりにく ぎゅうにゅう
12月	【岩槻産米】 いわつき ごはん	さんまのかんろに くるみあえ じゃがもちスープ	さんま あぶらあげ	とりにく ぎゅうにゅう

【岩槻産米】

いわつきごはん

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



本校では、日々の教育活動を通して、学習面、生活面における児童一人ひとりのめあてを大切に、「生きる力」を身に付けるための取組を進めています。

学校教育目標達成のため、「じょう・ほく」の教育を推進し、知・徳・体・コミュニケーションのバランスの取れた児童を育成します。



じょう ぶな体と心をつくる **ほ** う富な才能を伸ばす **く** り返し学習による学力の定着

■所在地：さいたま市岩槻区大字岩槻 6619 ■電話：048-757-5391
■FAX：048-758-7491 ■交通：東武アーバンパークライン岩槻駅下車 徒歩 25 分

01 じょうほくの森づくり



平成22・27年度に、全学年の児童・保護者により、潤いのある環境づくり、防災を目的として、シラカシ、スダジイ、タブノキなどの常緑広葉樹を中心に、クチナシやヤツデなど29種類、3653本の苗木を植樹しました。当時小さかった苗木も十分な高さに育ってきました。これから様々な学習の場面で「じょうほくの森」を活用していきます。



校庭南側の
じょうほくの森

02 ココロもホクホク城北小



正門前を「あいさつ通り」と名付け、あいさつ運動を推進しています。児童会運営委員が立ってあいさつをしています。また、いじめ撲滅を目指して、ハートフル集会を計画し全学級でスローガンを作成したり、児童会発案のキャンペーンに取り組んだりします。(6・11月)これらの取組を通し、全校児童が安心して学校生活を送れる温かな学校づくりを進めています。



中学生と合同の
あいさつ運動

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 徳力小学校** > > > > > > >

＜学校教育目標＞

- やさしさ いっぱい 「やさしく思いやりのある子」(徳)
- 学 び いっぱい 「よく考えて進んで学ぶ子」(知)
- 元 気 いっぱい 「ねばり強く元気な子」(体)
- あいさつ いっぱい 「笑顔であいさつができる子」(コミュ)



■所在地：さいたま市岩槻区徳力 1 3 6 - 4 番地 ■電話：048-794-2318
■FAX：048-795-0376 ■交通：東武アーバンパークライン豊春駅徒歩 15 分

01 児童の安心・安全な学校生活のために



本校では、「笑顔であいさつ」を通して、互いに気持ちよくよりよい学校生活を送ることができるようにあいさつ活動の充実力を入れています。



「あいさつコイン」や「あいさつ週間」の本校児童だけの取組はもちろん、小中一貫教育の取組の 1 つとして中学生と合同であいさつ運動を実施します。さらに、児童会が作成する「いじめ撲滅スローガン」のもと、「いじめ0」に向けて行動し、児童全員が安心して充実した学校生活が送れるように取り組んでいます。

02 ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境や人権感覚を養う学校環境の整備



(1) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境の整備

教室前面のレイアウトを全校統一とし、児童が授業に集中できる教室環境整備や見通しがもてる授業展開を行っています。



(2) 人権感覚を養う学校環境の整備

・学校図書館には、人権コーナーを設けて人権感覚を養うための本を紹介しています。また、「人権週間」を設定し、期間中図書館司書による人権課題を踏まえた読み聞かせを実施しています。この他にも、人権標語の作成や作文に取り組み、代表児童の作品を校内に展示したり、人権課題に関する DVD の視聴を行ったりして、人権の大切さについて考えることのできる児童の育成を目指しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立 上里小学校



- 1 一人ひとりの児童が生き生きと活動する学校
- 2 豊かな心と確かな学力を身に付けさせることができる学校
- 3 安心・安全で花と緑と潤いのある学校

■所在地：さいたま市岩槻区上里 2-2 ■電話：048-794-2316

FAX：048-795-0378

■交通：東武アーバンパークライン東岩槻駅徒歩 10 分



01 児童が生き生きと活動するために



本校では、「夢に向かって 元気なあいさつ 上里小」を重点指導に掲げ、朝のあいさつ運動を実施しています。元気なあいさつから学校生活を始めることで、児童が生き生きと学習活動に取り組んでいます。また、児童会が作成する「いじめ撲滅スローガン」のもと、「いじめをなくそう標語」や、「困ってな～い運動」、気持ちのよいあいさつを心がけることをねらいとした「あいさつポスター」の作成に PTA、学校運営協議会と共に取り組んでいます。また、児童全員が安心して充実した学校生活が送れるようにしたいと考えています。

02 豊かな心と真の学力を身に付けさせるために



本校では、毎月第二水曜日に健康な生活を送るための知識や技能を学ぶ「きらきらタイム」を実施しています。毎月の健康目標を設定することで、一年を通して生活習慣の改善について考えさせたり、熱中症やインフルエンザなど季節によって気を付けてほしい内容を示したりして児童が健康に過ごせるように支援しています。

03 安心・安全で潤いのある生活を築くために

本校の環境教育部の教員や環境委員会の児童が中心となって取り組んでいるホタルの育成や学校・地域連携コーディネーターが中心となり

登下校のボランティア活動など、児童が安心・安全に学校生活を送るための活動を通して、自分たちが住んでいる場所に愛着がもてる取組を行っています。PTA と地域の方々と協力してリサイクル回収活動を行い、学校と地域が連携して環境改善に取り組めるように実施しています。また、児童会も NPO と協力して、海外の恵まれない子どもたちに少しでも手をさしのべることを主旨に「靴プロジェクト」に参加し、毎年多くの提供品を送っています。さらに、図書ボランティアを保護者の方に呼びかけて、図書の時間に様々な本を読み聞かせしていただいています。今後も地域との結びつきを強めながら、学校・家庭・地域で子どもたちを見守り、育てていけるよう協力を要請し、学校が地域コミュニティの中心としての活動を推進していこうと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立西原小学校



＜学校教育目標＞

かしこく（Growth、知性、確かな学力）

やさしく（Global、感情、豊かな心）

たくましく（Grit、意志、健やかな体）

【目指す子ども像】

「学び続ける児童」

○知的好奇心をもって、学びへ没頭する子

○学んだことを生活に活かし、学ぶ意義や成長を実感できる子

○互いの学びを尊重し、協働しながら共に成長できる子



■所在地：さいたま市岩槻区西原6番25号

■電話：048-757-2271

■FAX:048-758-7489

■交通：東武アーバンパークライン岩槻駅徒歩15分

01 学び続ける児童の育成を目指して



本校では、『学び続ける児童の育成』のために、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実と学びの振り返りによる、「学びの自律化」の

実現を目指します。また、まずは教師が手本となるべく、個別最適で協働的な形での校内研修を進め、「学び続ける教師」を体現しています。個々で学び、学んだことや実践を話し合うことで、資質や専門性の向上を図ることができています。



02 地域の伝統を未来へつなげるために



岩槻区は、歴史的に人形づくりが盛んな地域です。本校では、開校当初から子どもたちが人形づくりに取り組んでいます。学年ごとに様々な種類の人形づくりに取り組みます。

また、作製した人形を全児童が互いに鑑賞する「人形見学」を開催しています。この学びを通して、地域とのつながりを振り返るとともに実感できるようにしています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立** **城南小学校** > > > > > > >

学校スローガン

「笑顔いっぱい 『あい』 あふれる城南小学校」

目指す児童像

- かしこく・・・何事にも意欲をもち、進んで学習に参加する子
学習ルールを守り、落ち着いた生活のできる子
- あかるく・・・さわやかな笑顔で挨拶のできる子
節度をもち、明朗活発な子
- たくましく・・・自分の健康や体力に関心をもち、記録に挑戦する子
基本的な生活習慣と粘り強さをもつ子
- まかよく・・・思いやりがあり、素直な子
誰とでも仲良くできる子



■所在地：さいたま市岩槻区大字南下新井 1 1 9 1 番地 1

■電話：048-798-4811 ■FAX：048-798-8736

■交通：東武アーバンパークライン岩槻駅から国際興業バスで城南小学校バス停下車徒歩 5 分

01 「生きる力」をはぐくむ学習指導



本校では、子どもたち一人ひとりが目を輝かせながら、進んで学習に参加しています。ねらいを明確にしたり、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業展開を工夫したりすることで、子どもたちは「わかった。できた。」「もっとやりたい。」と、生き生き

と学び合っています。授業の中では、協働や練り上げの時間の確実な設定を行い、学びの自律化と個別最適化そして探究化を目指していくことで、児童が主体的に取り組めるように、学習意欲を高め「生きる力」の育成を図っています。



02 「生きる力」の育成を目指す体験活動



本校では、各学年での様々な体験活動を実施しています。1・2年生では、生活科で町の様子を学習します。町たんけんでは、地域の人たちと触れ合いながら町のよいところを発見します。3年生では、社会科を通して、地域の様子をさらに詳しく学習します。スーパー

マーケットや農家の見学を行います。4年生では、助産師さんをお招きして、命に関わる授業を行っています。5年生では、校外学習で藍染の体験活動を行っています。6年生では、学区内にある「真福寺貝塚」へ発掘体験に行きます。縄文時代の人々の生活を肌で感じる活動です。これらの活動を系統的に実施し、体験を通して「生きる力」の育成を目指しています。

